

# 木材を活用した学校施設づくり講習会

木材は、建築物の部材として、柔らかで温かみのある感触を与えたり、室内の湿度変化を緩和させ快適性を高めるなどの優れた性質があると言われており、学校施設への木材活用は、豊かな教育環境づくりを進める上で大きな効果が期待できます。しかし、木材の活用にあたっては、建築コスト、維持管理の手間、防火上の対策などへの懸念の声が聞かれ、地方公共団体としての木材利用推進体制の充実や地域材の供給・流通システムなども課題となっています。これらの課題を解決するためには、建築方法、木材の調達方法等の工夫や各事業に適した補助制度の活用が必要となってきます。

当講習会では、このような課題を解決するための一助とすべく、木材活用に関する施策や新たな建材(CLT等)の紹介、専門家による特別講演、地方公共団体の取組紹介、学校施設の視察等を通じて、地方公共団体や木材関連企業、設計者等のみなさまによる、木材を活用した学校施設づくりの取組を支援します。

## 東京会場

平成28年11月28日(月)－29日(火)

会場／三田共用会議所

特別講演者／埼玉大学 教授

NPO法人 木づかい子育てネットワーク理事長 浅田 茂裕

視察校／埼玉県和光市立下新倉小学校(RC造 内装木質化)

定員／1日目(講習会)100名 2日目(学校視察)80名



## 鳥取会場

平成28年12月13日(火)－14日(水)

会場／鳥取市文化センター

特別講演者／京都女子大学非常勤講師

NPO法人 サウンドウッズ代表理事 安田 哲也

視察校／鳥取県智頭町立智頭中学校(木造 一部鉄骨造)

定員／1日目(講習会)100名 2日目(学校視察)80名



## 岩手会場

平成28年12月15日(木)－16日(金)

会場／北上商工会議所

特別講演者／東洋大学 名誉教授

株式会社教育環境研究所 所長 長澤 悟

視察先／岩手県遠野市立遠野中学校(木造一部RC造)・

遠野地域木材総合供給モデル基地(集成材工場)

定員／1日目(講習会)100名 2日目(学校視察)80名



## 受講無料

受講者の旅費及び宿泊費等は、個人負担となります。  
なお、学校施設視察へはバス(無料)でご案内します。

主催 文部科学省 後援 林野庁

お申込HP <https://www.p-unique.co.jp/2016bunkyo seminar2/>

お問合せ先 「木材を活用した学校施設づくり講習会」運営事務局((株)プロセスユニーク内)

TEL 03-6264-6433 FAX 03-6264-6445

定員になり次第、受付を終了させていただきますので、あらかじめご了承ください。

(担当) 文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課調査係 TEL 03-6734-2078

# 木材を活用した学校施設づくり講習会 第1回【東京会場】

開催日：平成28年11月28日(月)～29日(火)

開催場所：三田共用会議所

(東京都港区三田二丁目-1-8)

## プログラム

1日目

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:30-13:35 | 開会挨拶<br>文部科学省大臣官房文教施設企画部   |
| 13:35-13:50 | 施策説明<br>「木材を活用した学校施設づくり促進の取組」<br>文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課                         |
| 13:50-14:05 | 施策説明<br>「木材利用の促進に向けて」<br>林野庁林政部木材利用課木造公共建築物促進班                                 |
| 14:05-14:20 | 施策説明<br>「木造建築基準に関する最近の動向について」<br>国土交通省住宅局建築指導課建築物防災対策室                         |
| 14:20-14:50 | 地方公共団体の取組紹介<br>「魚津市の木の学校づくりの取組みについて」<br>～木造三階建て校舎の新築に向けて～<br>富山県魚津市教育委員会 教育総務課 |
| 14:50-15:10 | 視察校の事例紹介<br>「和光市のシンボル 森の学び舎 下新倉小学校」<br>埼玉県和光市教育委員会 教育総務課                       |
| 15:10-15:30 | 質疑応答   |
| 15:30-15:40 | 休憩   |
| 15:40-16:40 | 特別講演<br>「木の空間の持つチカラ」<br>埼玉大学 教授<br>NPO法人 木づかい子育てネットワーク 理事長 浅田 茂裕               |
| 16:40-16:55 | 質疑応答   |
| 16:55-17:00 | 事務連絡   |

2日目

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 9:00-10:00  | 移動                  |
| 10:00-12:00 | 学校施設視察 「和光市立下新倉小学校」 |
| 12:00-13:00 | 移動（解散）              |

※時間は、当日の進行により、若干変更となる場合があります。

# 木材を活用した学校施設づくり講習会 第1回【東京会場】

## 【特別講演】

<p>浅田 茂裕</p> <p>埼玉大学 教授 NPO法人木づかい子育てネットワーク理事長</p>	<p>「木の空間の持つチカラ」</p> <p>木材の持つ生理的親和性など様々な他材料にはない特長は、子どもたちが健やかに育ち学ぶ環境の創造に大きく貢献するものです。講演では、全国各地の学校や子どもを対象として実施した各種調査、そして実験研究の成果を交えて、教育環境の木質化、木造化の意義や役割について紹介します。</p>
---	--

## 【地方公共団体の取組紹介】

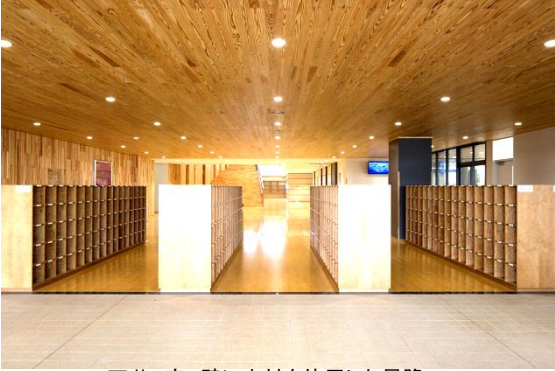
<p>富山県魚津市 教育委員会教育総務課</p>	<p>「魚津市の木の学校づくりの取組」 ～木造三階建て校舎の新築に向けて～</p> <p>本市は、平成31年4月に開校する統合校小学校校舎を木造校舎3階建てで新築することとし、本年度は基本設計・実施設計に取り組んでいます。</p> <p>設計にあたっては、ワークショップや木材の調達方法について検討しながら進めています。</p>
------------------------------	--

## 視察校の概要

### 和光市立下新倉小学校（埼玉県和光市下新倉五丁目21番1号）

## 【取組紹介】

<p>河野 育雄 和光市教育委員会事務局次長兼教育総務課長</p> <p>「和光市のシンボル 森の学び舎 下新倉小学校」</p> <p>構造等 : 鉄筋コンクリート造一部鉄骨、鉄骨鉄筋コンクリート造 竣工 : 平成28年3月 建築面積 : 5,276.89㎡ 延床面積 : 8,816.91㎡(小学校部分 7,647.99㎡) 施設用途 : 小学校、図書館、児童館、学童保育クラブ</p> <p>小学校の通学路として、学校敷地内に樹木に囲まれたパークアベニューを配置しています。緑道を通り抜け正門を抜けると、芝生のグラウンドとリサイクルウツのルーバーが印象的な校舎が迎えてくれます。昇降口を入ると360° 目を向ければ、フローリング、壁、奥行きを感じさせる天井には、木材がふんだんに使用されています。足を進めるとその先には、校舎棟の中心部となる「森のホール」が広がり、吹き抜けとなっている壁面には、埼玉県産のスギ材をランダムに張り合わせた特徴的な空間が広がっています。天井のトップライトからは木漏れ日のような光が降り注ぎ、温もりと安らぎのある憩いの場となっており、音楽会などの発表の場ともなっています。地域の生涯学習の拠点として開校した複合施設である下新倉小学校の建設までの経緯と設計の考え方などについて紹介します。</p>
--



天井、床、壁に木材を使用した昇降口



吹き抜けの「森のホール」

# 木材を活用した学校施設づくり講習会 第2回【鳥取会場】

開催日：平成28年12月13日(火)～14日(水)  
開催場所：鳥取市文化センター  
(鳥取県鳥取市吉方温泉三丁目701番地)

## プログラム

1日目

- 13:30～13:35 開会挨拶  
文部科学省大臣官房文教施設企画部
- 13:35～13:50 施策紹介  
「木材を活用した学校施設づくり促進の取組」  
文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課
- 13:50～14:05 施策説明  
「木材利用の促進に向けて」  
林野庁林政部木材利用課木造公共建築物促進班
- 14:05～14:20 施策紹介  
「木造建築基準に関する最近の動向について」  
国土交通省住宅局建築指導課建築物防災対策室
- 14:20～14:50 地方公共団体の取組紹介  
「日向市の木の公共建築物について  
～今までの取り組み～」  
宮崎県日向市教育委員会 教育総務課
- 14:50～15:10 視察校の事例紹介  
「地場産の杉を活用した智頭町立智頭中学校の施設整備」  
鳥取県智頭町教育委員会 教育課
- 15:10～15:30 質疑応答
- 15:30～15:40 休憩
- 15:40～16:40 特別講演  
「森から生まれた木の学校は子供たちに何をもたらしたか」  
NPO法人 サウンドウッズ代表理事 安田 哲也
- 16:40～16:55 質疑応答
- 16:55～17:00 事務連絡

2日目

- 9:00～10:00 移動
- 10:00～12:00 学校施設視察 「智頭中学校」
- 12:00～13:00 移動（解散）

※時間は、当日の進行により、若干変更となる場合があります。



# 木材を活用した学校施設づくり講習会 第2回【鳥取会場】

## 【特別講演】

安田 哲也

NPO法人 サウンドウッズ代表理事

### 「森から生まれた木の学校は子供たちに何をもたらしたか」

森に囲まれた町の新しい木の小学校。学校建設は、地域の価値ある森の恵みと、大人たちの仕事に向かう姿を、子供たちの記憶にしっかりと刻み込みました。

地域の大人と子供たちが一緒になってつくりあげた学校建設の事例を紹介しながら、企画構想段階で配慮すべき点と、学校づくりの意義をお話します。

地域の豊かな森の恵みを次の世代に引き継ぎ、地域の人々にとって「木の学校」が将来にわたる拠り所となるように、発注者としてどのような事業構想を描くべきか、一緒に考えてみたいと思います。

## 【地方公共団体の取組紹介】

宮崎県日向市  
建設部 建築住宅課

### 「日向市の木の公共建築物について ～今までの取り組み～」

日向市では、県産材の杉を利用した公共建築物に取り組んでいます。

特に、学校施設については、木の香あふれる空間であり、これらの取り組みについて紹介します。

## 視察校の概要

### 智頭町立智頭中学校（鳥取県八頭郡智頭町688）

## 【取組紹介】

西沖 和己

智頭町教育委員会 教育課 担当課長

福安 教男

智頭町教育委員会 教育課 課長補佐

### 「地場産の杉を活用した智頭町立智頭中学校の施設整備」

構造等 : 木造一部鉄骨造 2階建

竣工 : 平成27年3月

建築面積 :

延床面積 : 6,268㎡

鳥取県東部の山間に位置する智頭町は、周囲を1000m級の中国山脈に囲まれています。中学校の建築にあたっては、全国でも有数の杉の産地としての歴史もある地元産の杉材をふんだんに使用した木造の校舎となるよう計画し、建築しました。構造材や内外装材に地元で育った杉材を使用し、温かい雰囲気建物として平成26年度末に完成しました。



# 木材を活用した学校施設づくり講習会 第3回【岩手会場】

開催日：平成28年12月15日(木)～16日(金)

開催場所：北上商工会議所

(岩手県北上市青柳町二丁目1番8号)

## プログラム

1日目

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:30～13:35 | 開会挨拶<br>文部科学省大臣官房文教施設企画部   |
| 13:35～13:50 | 施策説明<br>「木材を活用した学校施設づくり促進の取組」<br>文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課                 |
| 13:50～14:05 | 施策説明<br>「木材利用の促進に向けて」<br>林野庁林政部木材利用課木造公共建築物促進班                         |
| 14:05～14:20 | 施策説明<br>「木造建築基準に関する最近の動向について」<br>国土交通省住宅局建築指導課建築物防災対策室                 |
| 14:20～14:50 | 地方公共団体の取組紹介<br>「町有林を活用した木の学校づくりの取組みについて」<br>栃木県茂木町 建築課                 |
| 14:50～15:10 | 視察校の事例紹介<br>「市内木造校舎の集大成として」<br>岩手県遠野市教育委員会                             |
| 15:10～15:30 | 質疑応答   |
| 15:30～15:40 | 休憩   |
| 15:40～16:40 | 特別講演<br>「地域材を活用した学校づくりと持続可能な地域づくり」<br>東洋大学 名誉教授<br>株式会社教育環境研究所 所長 長澤 悟 |
| 16:40～16:55 | 質疑応答   |
| 16:55～17:00 | 事務連絡   |

2日目

- |             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 8:40～10:00  | 移動                             |
| 10:00～12:00 | 学校施設視察 「遠野中学校・遠野地域木材総合供給モデル基地」 |
| 12:00～13:30 | 移動（解散）                         |

※時間は、当日の進行により、若干変更となる場合があります。

# 木材を活用した学校施設づくり講習会 第3回【岩手会場】

## 【特別講演】

長澤 悟

東洋大学 名誉教授  
株式会社教育環境研究室 所長

### 「地域材を活用した学校づくりと持続可能な地域づくり」

各地で木の学校づくりが進んでいる一方、高い、寿命が短い、燃える、何よりどう進めてよいかわからない等の声はまだ聞かれます。改めて木の学校づくりの意義や効果、木の特性とそれを踏まえた設計や事業計画上の留意点等について理解を深めることが必要です。東日本大震災からの学校復興、長寿命改修を含めて様々な取組を紹介し、持続可能な地域づくりには、循環資源である木を活かした建築、木質バイオマス、そして地域の核となる学校が大切であることを提言します。

## 【地方公共団体の取組紹介】

栃木県茂木町  
建築課

### 「町有林を活用した木の学校づくりの取組みについて」

茂木中学校は、先人が残してくれた大切な資源(町有林)を活用し、木材の特性を生かすため無垢材にこだわり、自然塗料を採用するなど教育環境に配慮した木造校舎として建設した。また山の伐採現場や建設中の工事現場見学など校外学習にも活かした取組みを紹介します。

さらに、旧耐震基準の学校は耐震補強工事と合わせて、その他新耐震の学校も庁内全て、町有林の無垢材の杉・桧材を使用し、教室や廊下等を仕上げ、年間を通しての保湿効果を保っています。

また、今後の維持管理やメンテナンス方法についても説明します。

## 視察校の概要

**遠野中学校** (岩手県遠野市松崎町白岩11地割30) **及び**

**遠野地域木材総合供給モデル基地** (遠野市青笹町中沢8-1-8)

## 【取組紹介】

畑山 透

岩手県遠野市教育委員会事務局教務課長

佐々木 徹

岩手県遠野市農林畜産部林業振興課長

古川 貴行

岩手県遠野市環境整備部都市計画課 計画建築係長

### 「市内木造校舎の集大成として」

(遠野中学校)

構造等 : RC造一部木造3階  
竣工 : 平成25年2月  
建築面積 : 2,742㎡  
延床面積 : 5,846㎡

遠野市では、小学校11校のうち校舎5校、屋体3校、中学校3校のうち校舎2校、屋体1校が木造となっており、構造別保有面積に占める木造割合は、38.6%となっている。市街地に位置する遠野中学校は、市内最大規模の校舎で、遠野における学校建築の集大成と位置づけ、平成23年度から大規模改築が行われ、平成25年2月に完成した。建築基準法の許容範囲内3,000㎡において、木材を最大限に活用した木造2階一部3階建の校舎で、RC造においても、内装の木質化を基調に、木のぬくもりいっぱい遠野らしい校舎となっている。

